

剣道称号「錬士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟  
群馬県剣道連盟

1. 申込対象者

剣道六段受有者で、受有後1年以上を経過した(平成2年5月31日以前に取得)した者。

2. 申込方法

受審希望者は、所定の錬士受審申請書に小論文を添え、群馬県剣道連盟に提出する。  
なお、年齢基準は審査当日（5月3日）とする。

3. 小論文の内容

(1) 課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それを踏まえたうえであなたの剣道修業について述べなさい。

(2) 字数 400字以上800字以内

(3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）。用紙1～4行目に表題と都道府県氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。

2枚目の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。

(4) 提出 封筒長3（長さ23.5cm・幅12cm）の表に「剣道称号錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記のうえ、封印すること。

4. 申込締切 各加盟支部の締切日を確認すること。

5. 都道府県剣連の推薦

都道府県剣連会長は、申込者が規則第10条第1項の付与基準に該当し、かつ、実施要項の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」（①～③）を満たしていると認め

た場合、全剣連会長に候補者として推薦する。

6. 審査の方法

(1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2) 審査会による審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

7. 審査会期日 令和3年5月3日（祝）

8. 審査料 25,000円（講習料を含む）支部を通じて振り込む。

9. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の都道府県剣連に送付するほか、後日、全剣連月刊「剣窓」および全剣連ホームページに氏名を掲載する。

10. 個人情報

受審者の個人情報は本審査会運営のため利用する。但し、最小限の個人情報は必要な都度、目的に合わせた公表媒体（剣窓等）に公表することがある。更に剣道普及発展のため、マスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 5 号  
令和 年 月 日

※都道府県剣道連盟で記入する。  
※申請番号は若年順に記入する。

- ①. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

## 錬士 受審申請書(本人用)

※該当するもの○印をする。

(申請都道府県剣道連盟)

群馬県

剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則[第11条第1項]に基づき、  
剣道 錬士を審査いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

フリガナ
印

(旧姓)

フリガナ

2 生年月日

年	月	日生	年齢	満	歳
---	---	----	----	---	---

3 性別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

段 位	段
年	月
登録県名	

取得年月

登録県名

5 全剣連番号

6 住所

〒
---

7 電話番号

携帯番号

8 職業

9 全剣連社会体育

中級認定月

平成	年	月	認定
----	---	---	----

※認定者のみ記入



1. 申込対象者

剣道錬士七段受有者で、七段受有後2年以上経過(令和元年5月31日以前に取得)した者

2. 申込方法

受審希望者は、所定の教士受審申請書に小論文を添え（自筆、パソコン不可、顔写真貼付）都道府県剣連に提出する。

3. 都道府県剣連の推薦

- (1) 申込者が提出した、教士受審申請書と小論文を受理する。
- (2) 都道府県剣連会長は、申込者が称号・段位審査規則第10条第2項の付与基準に該当し、かつ、同実施要領の「教士を受審しようとする者の備えるべき要件」(①～③)を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。

4. 申込締切

**各加盟支部の締切日を確認すること。**

5. 審査の方法

この度、新型コロナウイルス感染拡大防止や被害減少に協力するため、試験会場での称号教士筆記試験を中止し、下記のとおり課題に対する小論文提出の形式で実施し、小論文を採点の上審査会に付議して可否を決定する。

課題・書き方および提出方法

- (1) 剣道の課題 「剣道指導者としてのあり方」
- (2) 字数 800字以上1,200字以内
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）
- (4) 書き方 用紙1～3行目に課題と都道府県名・氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。  
原稿用紙の右上をホチキスで止めること。
- (5) 提出方法 封筒長3を使用し、表に「剣道称号教士受審」、裏に登録都道府県と氏名を標記し封印したものを群剣連に提出すること。

6. 審査料

30,000円（講習料含む）**を支部を通じて振り込む。**

7. 合格発表

令和3年5月3日（祝）に行われる称号「教士」審査会の後、合格者決定通知と証書を所属都道府県剣連に送付するほか、後日、月刊「剣窓」および全剣連ホームページに合格者氏名を掲載する。

8. 個人情報

受審者の個人情報は本審査会運営のため利用する。但し、最小限の個人情報は必要な都度、目的に合わせた公表媒体（剣窓等）に公表することがある。更に剣道普及発展のため、マスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号  
令和 年 月 日

※都道府県剣道連盟で記入する。  
※申請番号は若年順に記入する。

- ①. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

### 教士 受審申請書(本人用)

※ 試験会場

※該当するもの○印をする。

※社会体育上級認定者(追認者除く)は  
上記試験会場の記入は不要

(申請都道府県剣道連盟) 群馬県 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則[第9条第1項]に基づき、  
剣道 教士を審査いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

印

(旧姓)


2 生年月日

年	月	日生	年齢 満	歳
---	---	----	------	---

3 性別

男 ・ 女

4 取得称号・段位  
取得年月  
登録県名

称号	錬士	段位	段
年 月		年 月	
登録県名		登録県名	

顔写真を貼って  
から提出してく  
ださい  
(3cm×4cm)

5 全剣連番号

6 住所

〒

7 電話番号

8 職業

現職		前職	
----	--	----	--

※出来るだけ具体的にお書きください(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育  
上級認定月

平成	年	月	認定
----	---	---	----

※上級認定者のみ記入

[剣歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する